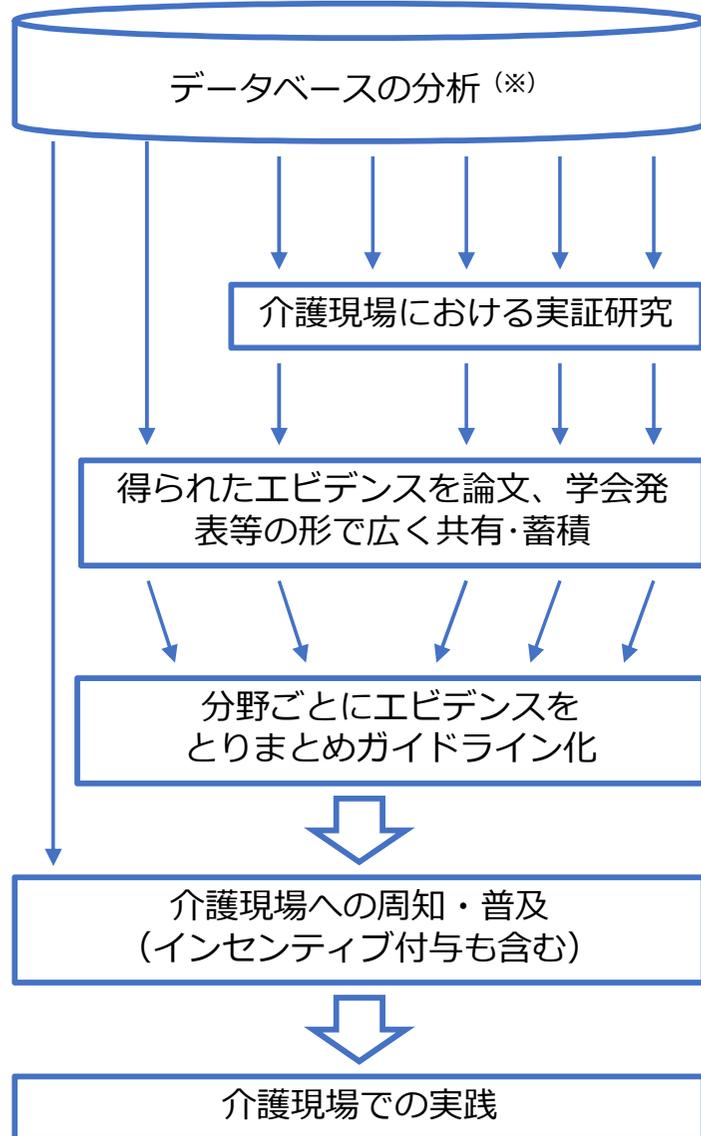


# 科学的裏付けに基づく介護の実践に向けた今後の課題について

データベース分析から  
科学的裏付けに基づく介護の提供までの流れ



(※) 分析を通じて明らかになったニーズも踏まえ、引き続きデータベースの充実、利便性の向上を進めていく。

## データベースの充実、利便性向上と併せて検討すべき課題

データベースの分析から介護現場での実践に至るまでの各段階を進めるにあたり、現在の介護領域では不足しているものは何か、また、それは既存の資源を活用することで対応できるのか、それとも新たに用意する必要があるかについて検討が必要である。

(具体的な課題の例)



データベース分析はどのような研究者が行うことを想定するのか。

介護現場で実証研究を行う上で何が必要か。  
(医療の臨床研究との比較・介護独自の課題の整理)

実証研究等で得られたエビデンスをどのような場で共有・蓄積していくのか。

介護現場で解決のニーズが高い疑問（重要臨床課題）等を明確化し、関連するエビデンスをとりまとめ、ガイドライン化する主体は何か。

エビデンスを現場へ周知、普及し、科学的裏付けに基づく介護の実践を進めるための方法にはどのようなものがあるか